

議事録

会議等の名称	第2回東御市病院等運営協議会	開催日時	令和6年12月12日（木） 13時～14時30分
		場 所	市民病院2階研修室
主催者(事務局)	東御市民病院	司会者	井出事務長
出席者	<p>○委員 武藤会長、青木副会長、掛川委員、三石委員、酒井委員、星山委員、宮下委員、後藤委員</p> <p>○市（事務局） 田丸副市長、岩橋院長、金井部長、中沢部長、齋藤診療所長、黒澤助産所長、井出事務長、大塚医療事務部長、渡辺副主幹、酒井主任</p> <p>○市（健康推進課） 武井健康推進課長、柳澤保健地域医療係長</p>		
欠席者	滝澤委員、花岡委員、花岡市長		
討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）	
開会	青木副会長		
会長あいさつ	武藤会長		
市長あいさつ	田丸副市長		
報告事項			
(1) 令和5年度決算の状況（確定値）について	武藤会長	基準外繰入金を受けず、またコロナ補助金が減少した中でこのような収支状況であったのは経営改善にご尽力された成果と考える。	
(2) 令和6年度業務の状況について	武藤会長	診療所の訪問診療件数と助産所のショートステイ利用が顕著に増大しているが説明はあるか。	
	齋藤診療所長	訪問診療については、地域の先生方や近隣の医療施設から紹介を受けて順調に増えている。	
	黒澤助産所長	希望すれば、特に市町村の許可なく自由にショートステイを利用できるという市町村が東御市以外にも近隣で増えてきた。また、一度利用された方が、何度も利用いただくというものが増えてきた。周知されてきていると感じる。	
	酒井委員	診療報酬の改定により当院は大きな影響を受けていて、市民病院の経営も苦しくなると思うが、良い評判を聞くので、その評判を維持できるよう取組みを継続してもらえればと思う。	

(3) 医学生奨学金制度について	武藤会長	従前の制度で5年間ほど空白があったが、改正をしたうえで再開をするという提案、特に対象から研修医を除外すること、対象者の市内居住要件を除外して広く募集するもの。医学生やその家庭にとっては大きな支援、県内でもかなり多くの市が同様の支援を行っており、大変重要で社会に求められている事業ではないかと思う。
	後藤委員	受入の上限人数は何名か。
	武井課長	1名分で予算要求をしているが、複数名応募があった際、審査会を開き、必要であれば補正対応とするよう考えている。募集の文言を何名と記載するかは今後内部で協議、検討していく。
	武藤会長	医学生を大事にすることは病院の発展に大きくつながると思うのでぜひ進めていただければ、また、東御市が本事業を本格的に再開し、さらに応募しやすい形となることを積極的に周知広報していただければと思う。特に希望診療科の指定が鍵となるので、学生が手を挙げやすいよう、募集の際は診療科を明確化するように。
(4) 病院事業の新たな取り組みについて ①地域包括医療病棟	武藤会長	地域包括医療病棟への取り組みはコミュニティホスピタルの理念に即し、合理的かつ経営改善につながる事業と考える。
	酒井委員	入院費はどれくらい上がるのか。
	事務局	今までおよそ日額 37,000 円程度であった入院単価が日額 43,000 円程度となる見込みです。今まではリハビリなどは包括で入院費に含まれていたが、リハビリは別に点数が加算されるため、その分も含めての金額です。
	星山委員	リハビリが充実するというが、体制上スタッフの対応は可能か。
	中沢部長	現在の地域包括ケア病床では専従の理学療法士1名体制であったが、地域包括医療病棟では専従の理学療法士、作業療法士もしくは言語聴覚士の2名体制となる。それと365日の勤務体制となるので現状セラピスト8名でなんとかやりくりをしていく。来年度以降に関して、現状ではわからないが、セラピストの増員をお願いしていきたい。
	武藤会長	PT、OTの皆さんの活躍がさらに期待される。ただ、ハードワークになりすぎると持続できないので、全体の体制については幹部と相談をいただければ。
	青木副会長	入院となれば、年齢、疾患に関わらず、全員適用となるのか。
	事務局	そのとおりです。
	田丸副市長	先ほどの青木副会長のご質問は、市民の側からみると患者の費用負担が大きくなるのではというご質問かと思うので、そこをきちんと説明するべきでは。
	事務局	例えば高齢者ですと、現在は食費等込みで1ヶ月10万円弱くらいが入院費の上限となり、それ以外は保険からいただいています。今回の制度においても個人負担の上限があるので、患者様からいただく料金はほぼ変わりませんが、医療費全体では保険から多くいただくこととなります。

②母子特化型訪問看護事業	武井課長	例えば指示書まではいかないけど、自宅でご相談したいというお母さんがいた場合、産後ケアの中の訪問型ということで対応可能でしょうか。
	黒澤助産所長	現在、保健係から妊婦訪問の依頼を受けて実施しており、その中で産後も希望があれば産後訪問という形で対応している。今までは体制が上手く整っていなかった部分もあったが、これを機会にそういった形で依頼をいただければと思っているのでよろしくをお願いします。
③小児リハビリテーション		(質疑等特になし)
その他	三石委員	人件費の増加のお話があり、スタッフが増えて働きやすくなっているのではと思うが、職員募集に向けた取り組みを行っているか。
	院長	職員が長く働ける職場づくりを目指していきたい。募集において特別な取り組みが現在あるわけではないが、コミュニティホスピタルのイメージを広報し、地域医療に携わりたいという方が目に触れるようにしていくことが大事だと考えています。
	掛川委員	広報誌ひまわりが回覧でまわってきているが、市民病院を利用していない方が市民病院のことやいろんなことが知れてよかったと話していた。市民病院を知ってもらい、利用につながるいい取り組みだと思う。もう一つ、以前、会計待ちをしていた際、別のお客さんに事務の方が「前回お金をいただかなかったのこの分も含めて請求します」と言っていたが、お客さんは「前回請求された金額は払った」と言い、気分を悪くされていたように思えた。「前回の手違いで請求が遅れまして」などのちょっとした言い方で受け取り方が違うのではないかと、私自身の話ではないが、そのように感じた。
	井出事務長	患者様に気持ちよく診察を受けていただき、帰っていただけるよう、言葉遣い等について職員へ周知させていただく。
閉会	青木副会長	